

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画

令和元年度事業 点検・評価調書

4-I-17

4-I-17

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備		取組項目	各種施設のバリアフリー化
	節	I.アクセスルートの整備・来訪者の誘導等		
事業(施策)名	17 各種施設のバリアフリー化		事業主体	佐渡市観光振興課
			関連団体	佐渡地域振興局地域整備部、佐渡市世界遺産推進課、佐渡市交通政策課、佐渡観光交流機構、佐渡汽船(株)、新潟交通佐渡(株)、(株)ゴールデン佐渡
事業実施期間	H28～R4			
事業概要	【事業目的】	○各種施設のバリアフリー化により、高齢者等の利便性向上を図る。		
	【事業内容】	○公共施設及び公共交通施設等の現状調査を実施し、エレベーターやエスカレーターの整備など各種施設のバリアフリー化を推進する。		
R元事業計画と実績	【元年度計画】	●快適な宿泊環境を整備し、宿泊施設の魅力向上を図ることで、宿泊者数の増加につなげようとする意欲のある市内の宿泊施設に対し、施設の整備や改修経費への支援を行う。		
	【元年度実績】	●宿泊施設向け施設改修補助事業を実施し、施設の洋式化及びバリアフリー化を促進した。(2件)		
課題・今後の取組	【課題】	■バリアフリー化は費用負担が大きな課題となっている。		
	【今後の取組】	■制度の見直し等により、別の補助事業を推奨する。		
事業評価	【事業の達成度】	[a (b) c]	◇補助事業実施により、多様化する宿泊者への快適な環境整備を提供できたことからBとする。	
	【事業実施の効果】	[a (b) c]		
	【総合評価】	[A (B) C]		

a:進んでいる。高い。
b:概ね順調。概ね適切。
c:遅れている。低い。

A:計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B:概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C:計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。